

期末レポートについて

テーマ：この授業で扱った問題に関する書籍または論文を読み、その内容を要約し、あなたの考えを書いてください

文字数：2000字以上

書式：A4用紙に横書き両面印刷

提出日：2017年1月18日の授業内で

参考：<http://fic.xsrv.jp/elgg>

A detailed topographical map of East Asia, including China, Korea, and Japan, serves as the background. The map is rendered in a dark, muted color palette, with landmasses in shades of brown and green, and the surrounding seas in deep blue. The text is overlaid on this map.

中国の文化Ⅲ

日中文化交流史

第十四回 二分論



Q

なぜ中国の教科書には、「藤
野先生」が載せられているの
ですか？



戦争で甚大な被害を受けた中国は、
戦後、対日政策の原則を「二分論」
と定め、学校の歴史教育では日本の
軍国主義者の非道さを、国語教育で
は日本の庶民の善良さを伝えている。





語）教科書に収録され、毎年一四〇
○万以上の中学生が、この作品を通
じて日中友好の大切さを学んでいる。



「藤野先生」は、日本の庶民の善良
さ、誠実さを伝える作品として、い
まも中国の中学校すべての語文（国

Q

この写真は、原爆が投下された
長崎で撮影されたものである。
写真の中の少年は何をしている
のか。



長崎の原爆少年

この写真を撮影したのは、米海兵隊の従軍カメラマン、ジョー・オグネルである。一九四五年九月、佐世保に上陸した彼は、従軍カメラマンとして記録写真を撮る一方、私用力メラで広島、長崎の原爆の惨状を撮影した。

彼はこの写真を撮影した時のように著書の中でこう回想している。



長崎の原爆少年

焼き場に一〇歳くらいの少年が
やってきた。小さな体はやせ細り、
ぼろぼろの服を着てはだしだった。
少年の背中には二歳にもならない幼
い男の子がくくりつけられていた。

ジョー・オグネル『トランクの中の日本』

（小学館、一九九五年）



長崎の原爆少年

少年は焼き場のふちまで進むとそこで立ち止まる。係員は背中の幼児を下ろし、足元の燃えさかる火の上に乗せた。……少年は気を付けの姿勢で、じっと前を見つづけた。一度も焼かれる弟に目を落とすことはいない。軍人も顔負けの見事な直立不動の姿勢で彼は弟を見送った。

ジョー・オグネル『トランクの中の日本』

(小学館、一九九五年)





本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社 1972年）

南京事件で家族を奪われた少年

一九七一年、日中国交正常化を前に中国を訪れた朝日新聞社の本多勝一記者は、日中戦争の被害者から多くの証言を集めた。

その一人、姜根福さんは、首都南京攻略戦の中で起こった悲劇を次のように証言している。



姜根福さん(2003年12月12日撮影)

首都南京攻略戦 1937年



近附京南

八 大 阪 橋 頭
木 古 橋 頭
三 北 橋 頭
招 商 橋 頭
怡 和 橋 頭
渣 平 橋 頭

0 1 2 K.M



中華民國の首都 南京城

11	行政院國民政府	10	軍政部參謀本部	9	教育部	8	中央大學	7	陸地測量總局	6	工商部	5	外交部	4	米國領事館	3	三十三標區址	2	兵工廠署	1	海軍司令部
22	中央軍官學校	21	古物保存所	20	地方法院	19	南京特別市政府	18	郵政管理局	17	立法務院	16	造幣廠	15	金陵中學	14	兵營	13	財政部	12	交通兵部



中華西門前のクリークを渡る日本軍(1937年12月13日)

南京事件で家族を奪われた少年

姜根福さんの一家は南京城の北西の城外、長江ぎわの下関地区に住んでいた。貧乏な一家は家に住むこともできず、サンパンを住居とする水上生活者だった。父母と七人兄弟の九人家族。当時、九歳の姜さんを長男に、三人の弟と三人の姉がいた。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二三八頁）

中華民国の首都
南京城



南京事件で家族を奪われた少年

姜さんの父は、南京周辺を離れてしばらく農村に避難しようと考え、下関の川岸を離れた。一家八人とわずかな家財をのせたサンパンはあまりにもボロボロだったため、ほんの二〜三キロ南へ進んだあたりで浸水してどうにもならなくなった。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年

文庫版、一九八一年、二三八〜九頁）

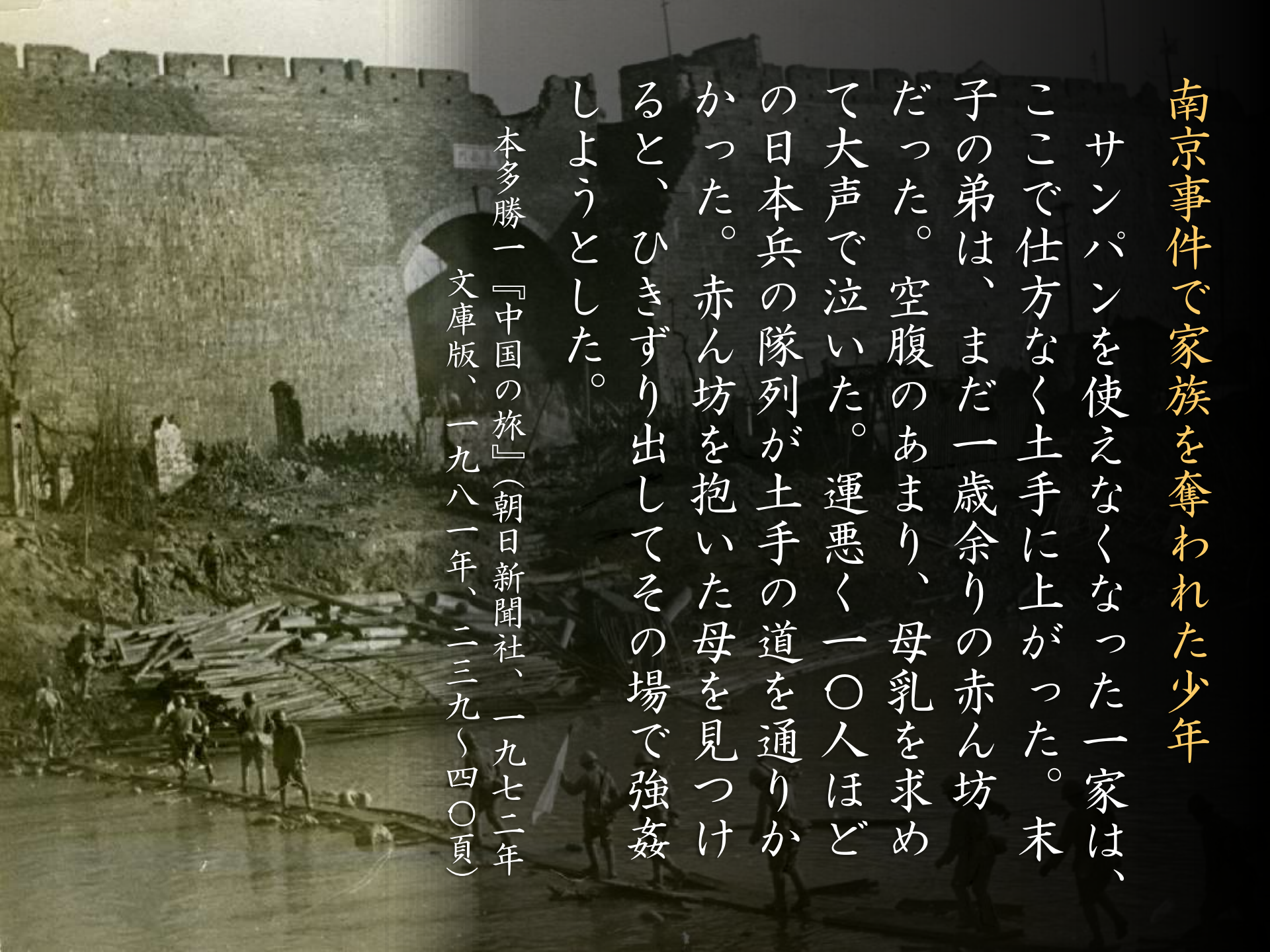
中華民国の首都
南京城



南京事件で家族を奪われた少年

サンパンを使えなくなった一家は、
ここで仕方なく土手に上がった。末
子の弟は、まだ一歳余りの赤ん坊
だった。空腹のあまり、母乳を求め
て大声で泣いた。運悪く一〇人ほど
の日本兵の隊列が土手の道を通りか
かった。赤ん坊を抱いた母を見つけ
ると、ひきずり出してその場で強姦
しようとした。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二三九〜四〇頁）

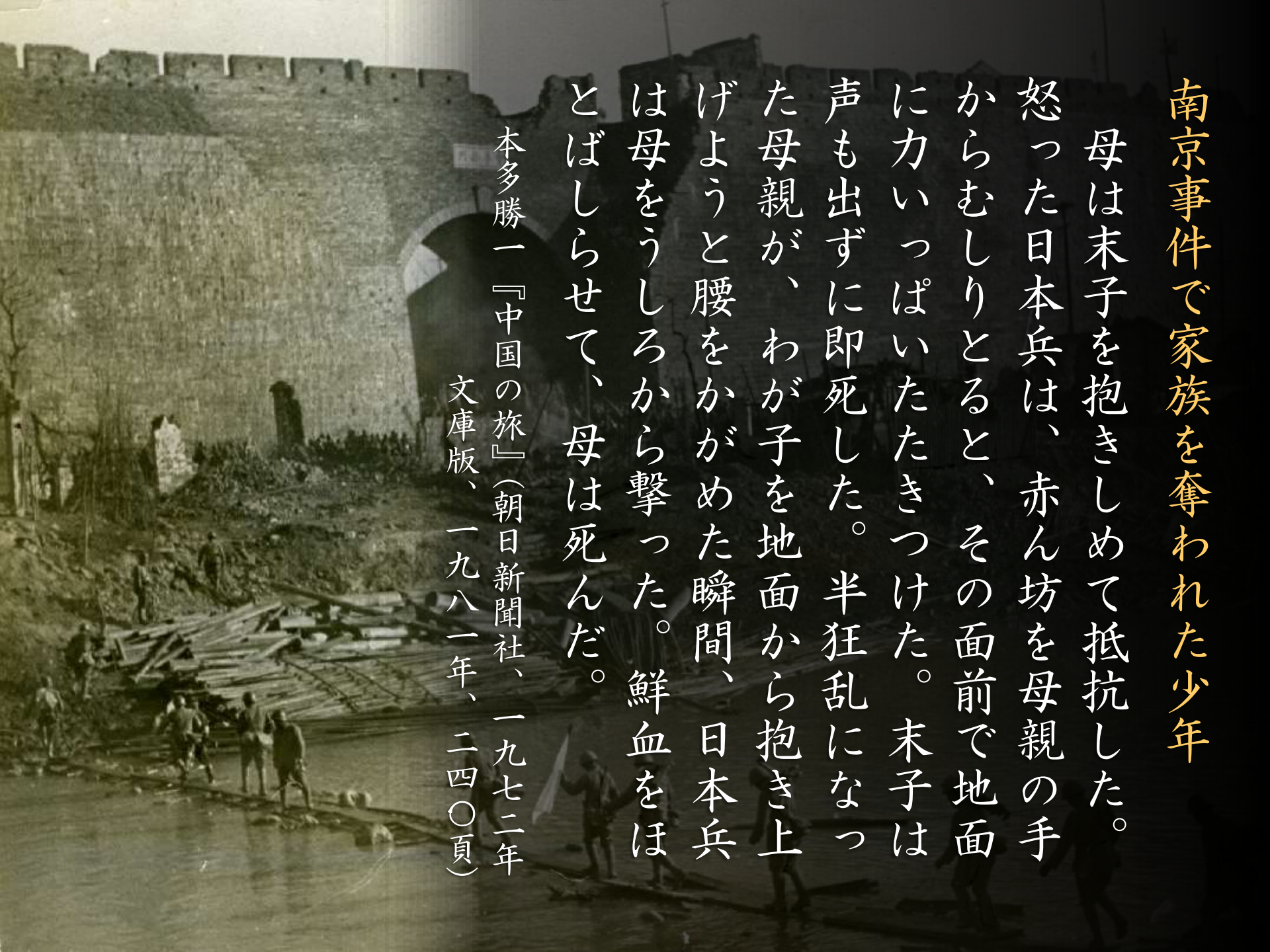


南京事件で家族を奪われた少年

母は末子を抱きしめて抵抗した。

怒った日本兵は、赤ん坊を母親の手からむしりとると、その面前で地面に力いっぱいたたきつけた。末子は声も出ずに即死した。半狂乱になった母親が、わが子を地面から抱き上げようと腰をかがめた瞬間、日本兵は母をうしろから撃った。鮮血をほとばしらせて、母は死んだ。

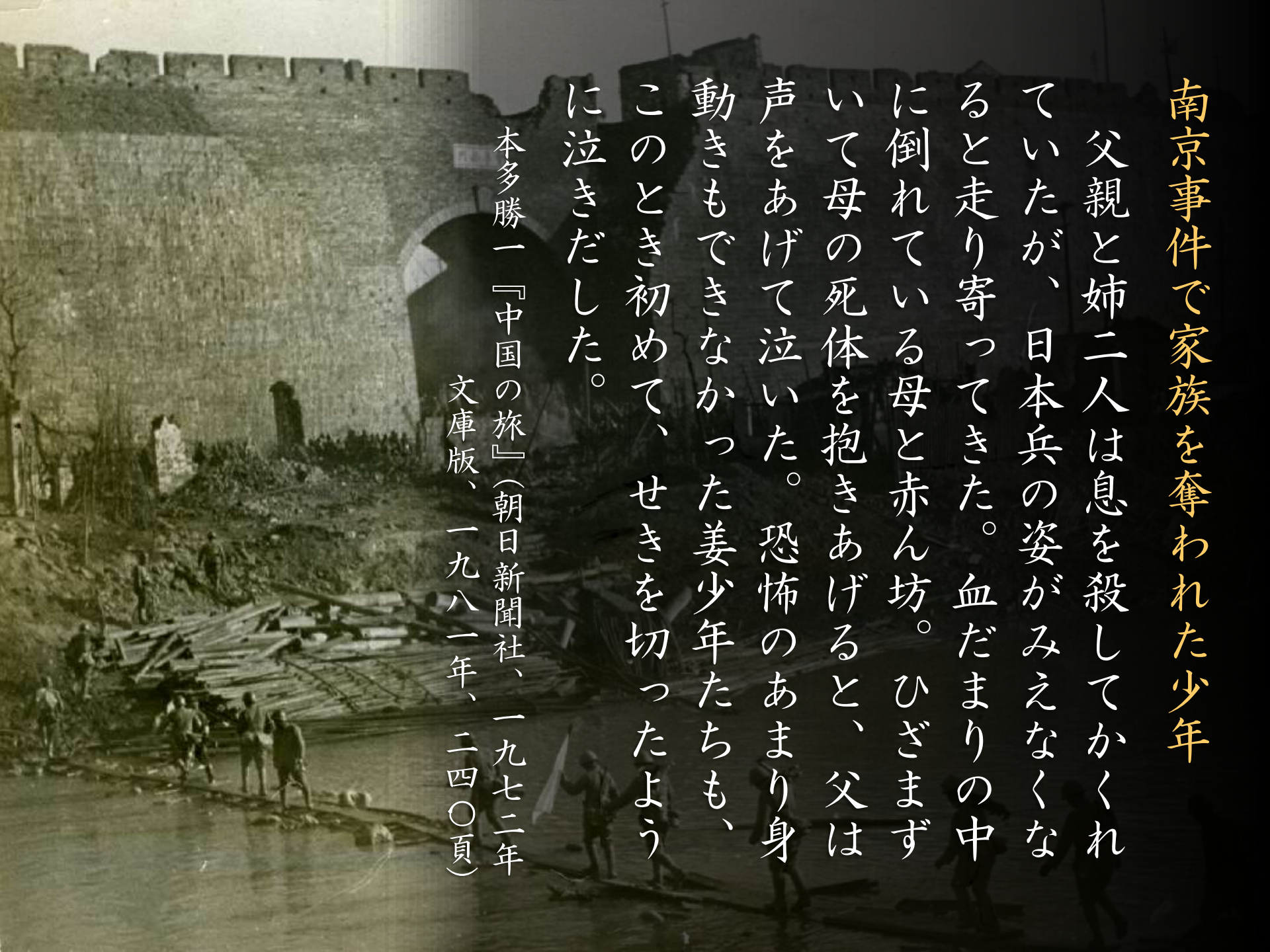
本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）



南京事件で家族を奪われた少年

父親と姉二人は息を殺してかくれていたが、日本兵の姿がみえなくなると走り寄ってきた。血だまりの中に倒れている母と赤ん坊。ひざまずいて母の死体を抱きあげると、父は声をあげて泣いた。恐怖のあまり身動きもできなかった姜少年たちも、このとき初めて、せきを切ったように泣きだした。

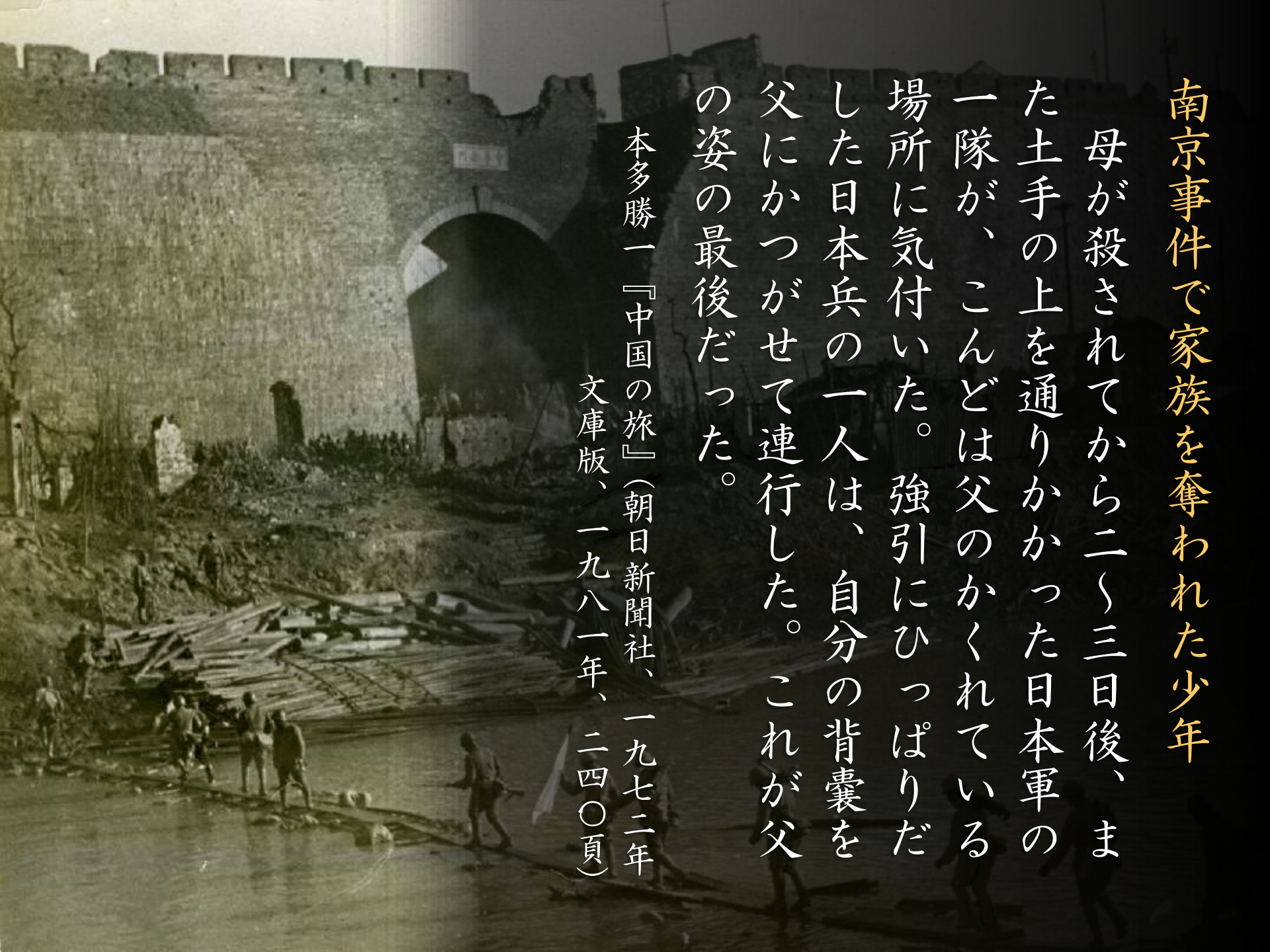
本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）



南京事件で家族を奪われた少年

母が殺されてから二、三日後、また土手の上を通りかかった日本軍の一隊が、こんどは父のかくれている場所に気付いた。強引にひっぱりだした日本兵の一人は、自分の背囊を父にかつがせて連行した。これが父の姿の最後だった。

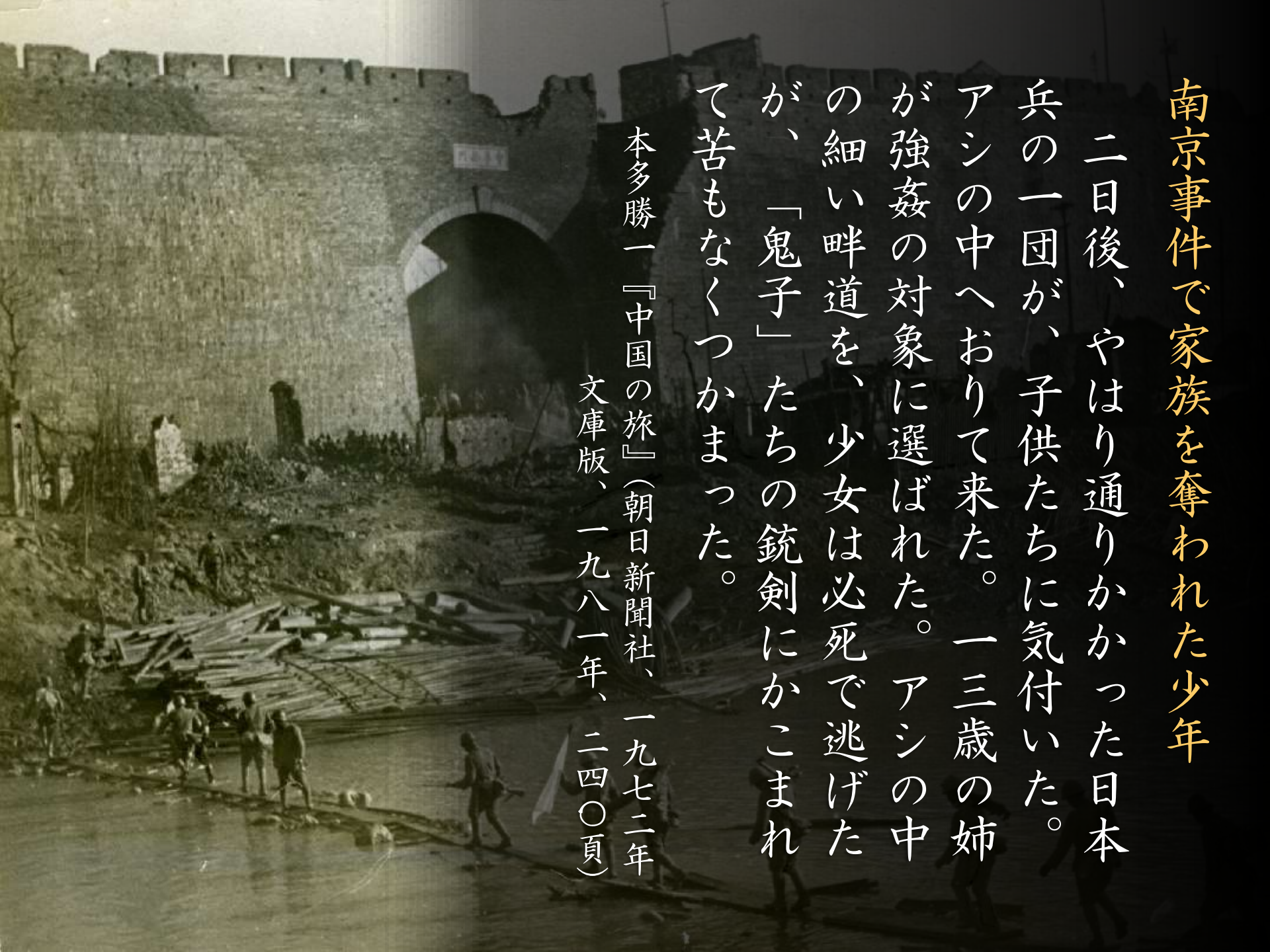
本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）



南京事件で家族を奪われた少年

二日後、やはり通りかかった日本兵の一团が、子供たちに気付いた。アシの中へおりて来た。一三歳の姉が強姦の対象に選ばれた。アシの中の細い畔道を、少女は必死で逃げたが、「鬼子」たちの銃剣にかこまれて苦もなくつかまった。

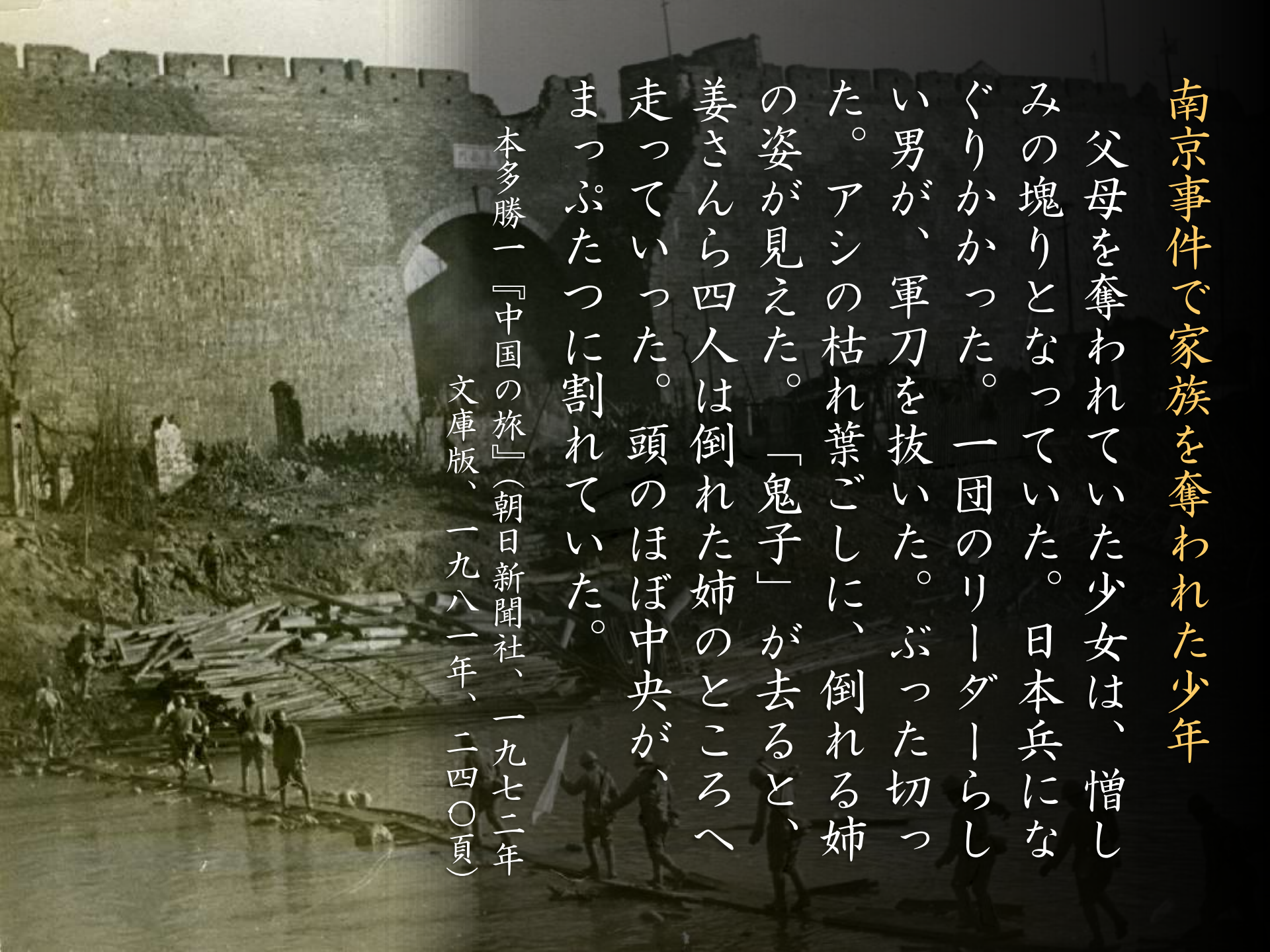
本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）



南京事件で家族を奪われた少年

父母を奪われていた少女は、憎しみの塊りとなっていた。日本兵になりかかった。一団のリーダーらしい男が、軍刀を抜いた。ぶった切った。アシの枯れ葉ごしに、倒れる姉の姿が見えた。「鬼子」が去ると、姜さんら四人は倒れた姉のところへ走っていった。頭のほぼ中央が、まっふたつに割れていた。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二四〇頁）



一九三一年の満州事変(九・一八事件)から終戦まで、あしかけ十五年に及んだ日中間の戦争は、戦場となった中国の人々の心に大きな傷を残した。

戦後の東西冷戦の中、日本との早期講和を求めた中国政府は、「二分論」によって国民の理解を求め、七二年の国交正常化を実現した。しかし、この「二分論」に対する日中双方の認識の違いが、やがて両国民の間に新たな亀裂を生じさせた。

今回の講義では、この「二分論」とは何かについて考えてみたい。

もくじ

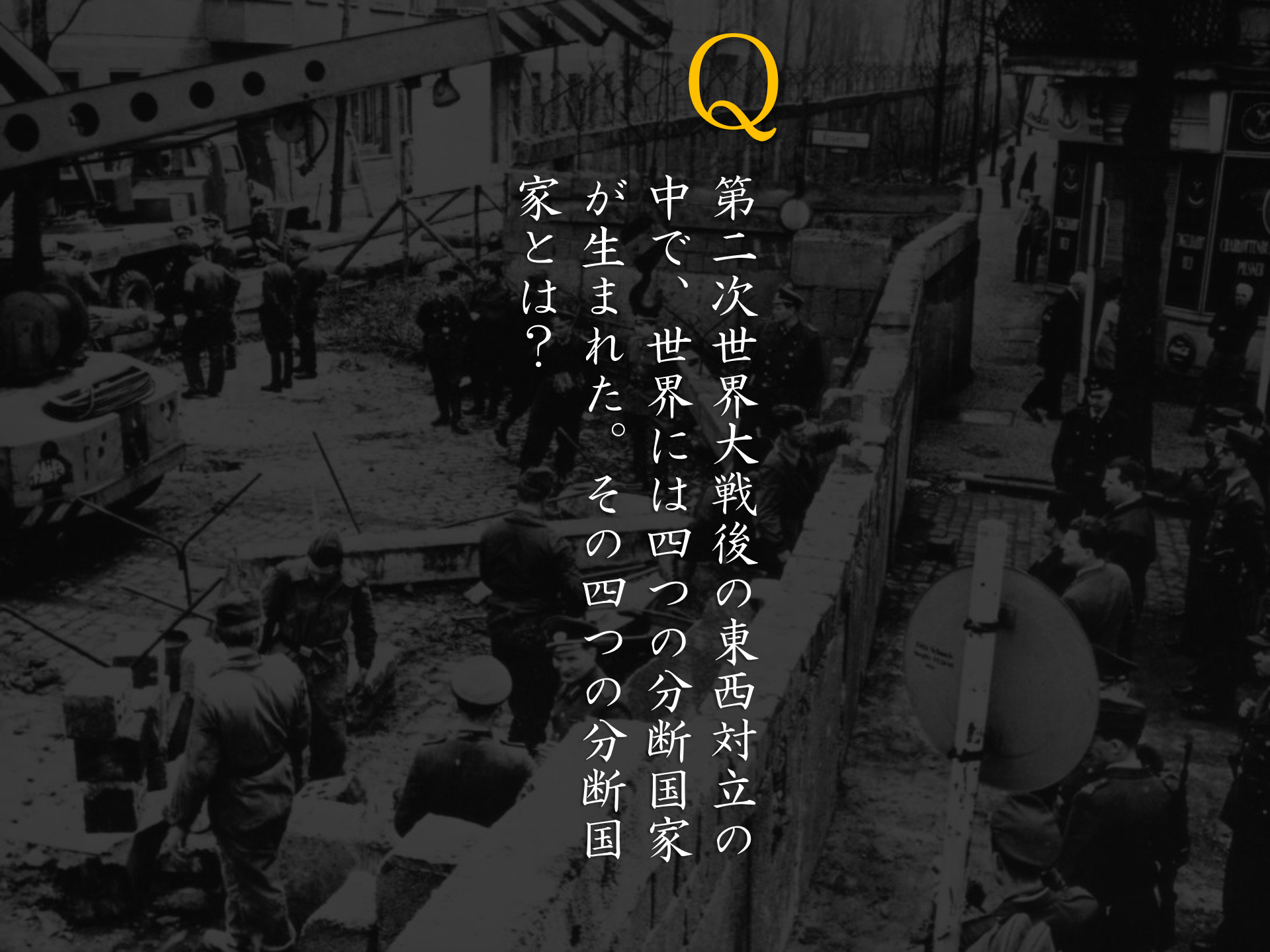
第一章 分断国家

第二章 二分論

第三章 日中国交正常化交渉

第一章 分断国家



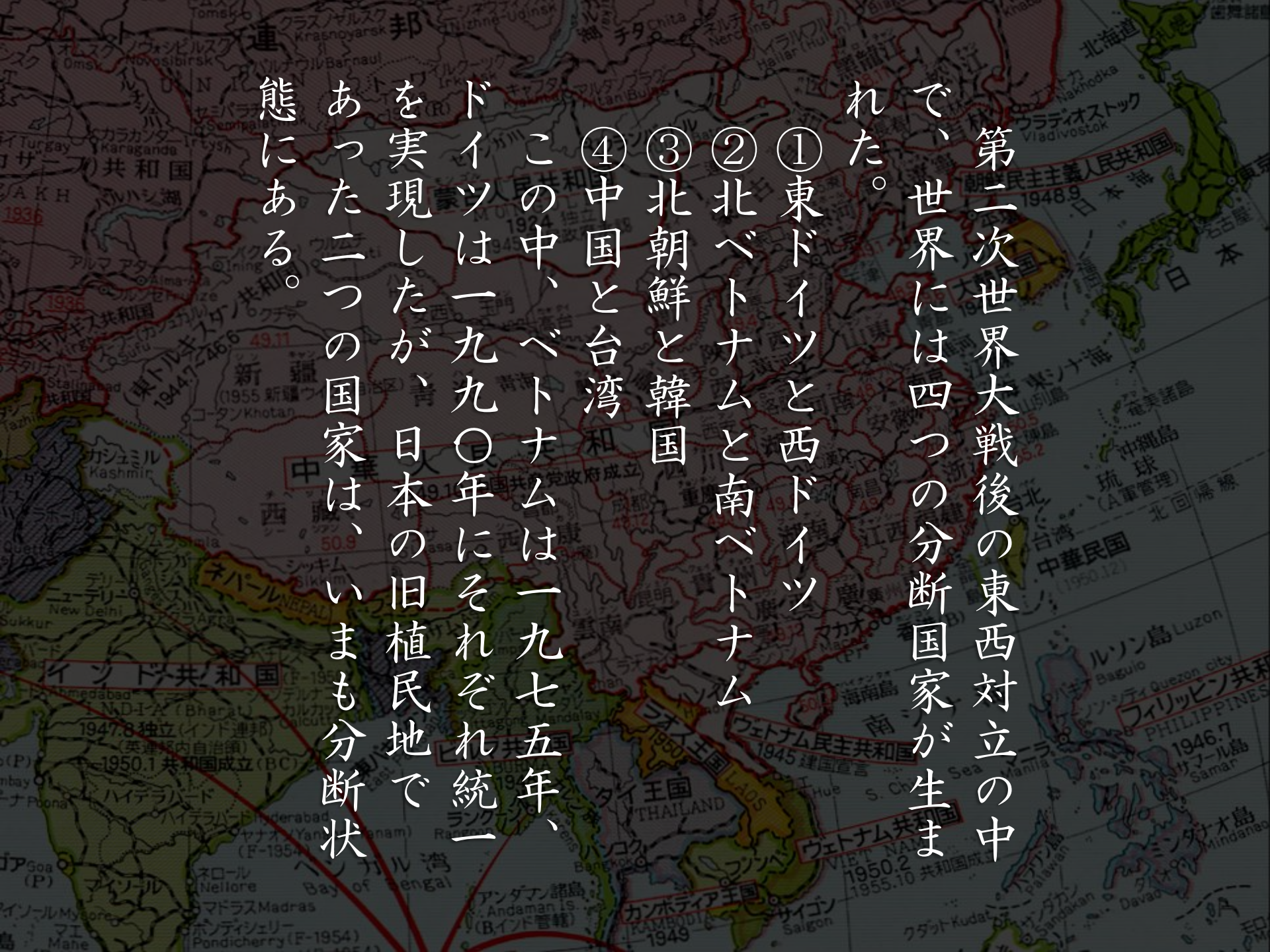


Q

第二次世界大戦後の東西対立の
中で、世界には四つの分断国家
が生まれた。その四つの分断国
家とは？

第二次世界大戦後の東西対立の中で、世界には四つの分断国家が生まれた。

- ① 東ドイツと西ドイツ
 - ② 北ベトナムと南ベトナム
 - ③ 北朝鮮と韓国
 - ④ 中国と台湾
- この中、ベトナムは一九七五年、ドイツは一九九〇年にそれぞれ統一を実現したが、日本の旧植民地であった二つの国家は、いまでも分断状態にある。





清 1616-1912

明治時代
1868~1912

大正時代
1912~1926

中華民國

十五年戦争 1931-45

昭和時代
1926~1989

中華人民共和國
1949~

平成時代
1989~



清 1616-1912

明治時代
1868~1912

大正時代
1912~1926

中華民国
1912~

十五年戦争 1931-45

国共内戦
1946-49

昭和時代
1926~1989

中華人民共和国
1949~

平成時代
1989~

Q

一九五二年、日本は中国との講和のため、日華平和条約を結ぶ。このとき条約の締結国となったのは、どちらの政府か？

- ① 中華人民共和国(北京)
- ② 中華民国(台湾)



「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(NHK 2006年)より

Q

戦後の東西対立の中で、アジアには三つの分断国家が生まれる。この中、東側（社会主義陣営）に属したのは？

① 中華人民共和国、朝鮮民主主義人民共和国、ヴェトナム民主共和国

② 中華民国、大韓民国、ヴェトナム共和国



A satellite map of East Asia, showing the Korean Peninsula, Japan, and the surrounding seas. The text "第二章 二分論" is overlaid in the center.

第二章 二分論

Q

中国政府は、日本との国交正常化を実現するため、対日政策の基本原則が決められた。その原則とは？

①日本の戦争責任を明らかにし、日本政府に対して賠償を請求する

②戦争責任はごく少数の軍国主義者にあり、多くの日本国民はその犠牲者と考え、賠償を放棄する

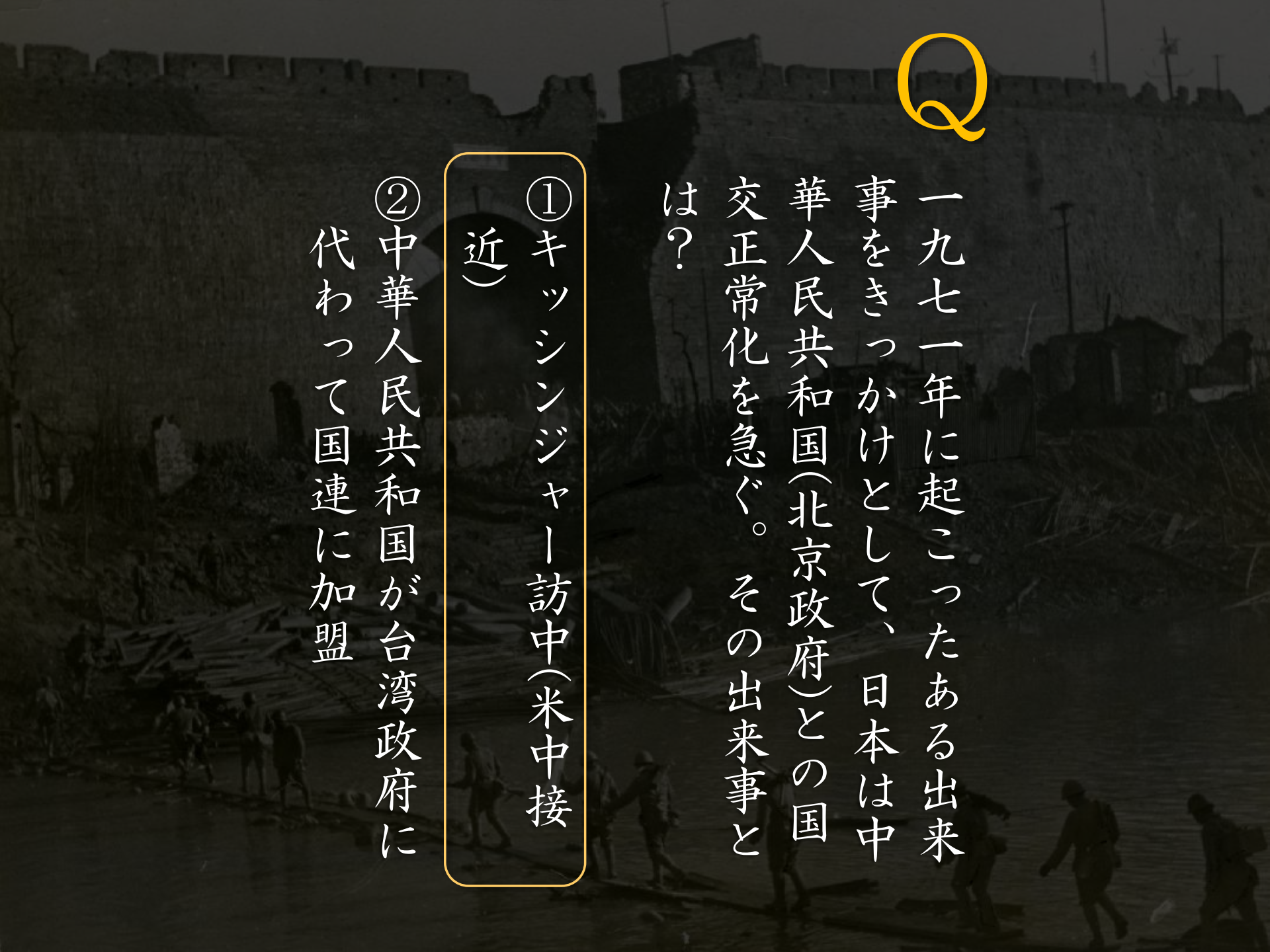




NHK「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)

A satellite map of East Asia, showing the Korean Peninsula, Japan, and the surrounding seas. The map is dark and textured, with the landmasses appearing in shades of brown and green, and the water in dark blue. The title is overlaid in white text.

第三章 日中国交正常化交渉



Q

一九七一年に起こったある出来事をきっかけとして、日本は中華人民共和国（北京政府）との国交正常化を急ぐ。その出来事とは？

① キッシンジャー訪中（米中接近）

② 中華人民共和国が台湾政府に代わって国連に加盟



清 1616-1912

明治時代
1868~1912

大正時代
1912~1926

中華民国
1912~

十五年戦争 1931-45

国共内戦

朝鮮戦争
1950-53

昭和時代
1926~1989

中華人民共和国
1949~

平成時代
1989~



清 1616-1912

明治時代
1868~1912

大正時代
1912~1926

中華民国
1912~

十五年戦争 1931-45

国共内戦

朝鮮戦争
1950-53

日華平和条約

昭和時代
1926~1989

キッシンジャー訪中(米中接近) 1971

中華人民共和国
1949~

ベトナム戦争
1964-75

平成時代
1989~





NHK「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)



田中角栄（一九一八～一九三）

一九一八年（大正七年）、新潟県に生まれる。三六年、中央工学校土木科を夜学で卒業。三九年、応召し、満州国で陸軍に入隊。四一年、病気により帰国。戦後、政界に入り、七二年、自民党総裁選に当選、五四歳で第六四代内閣総理大臣となる。

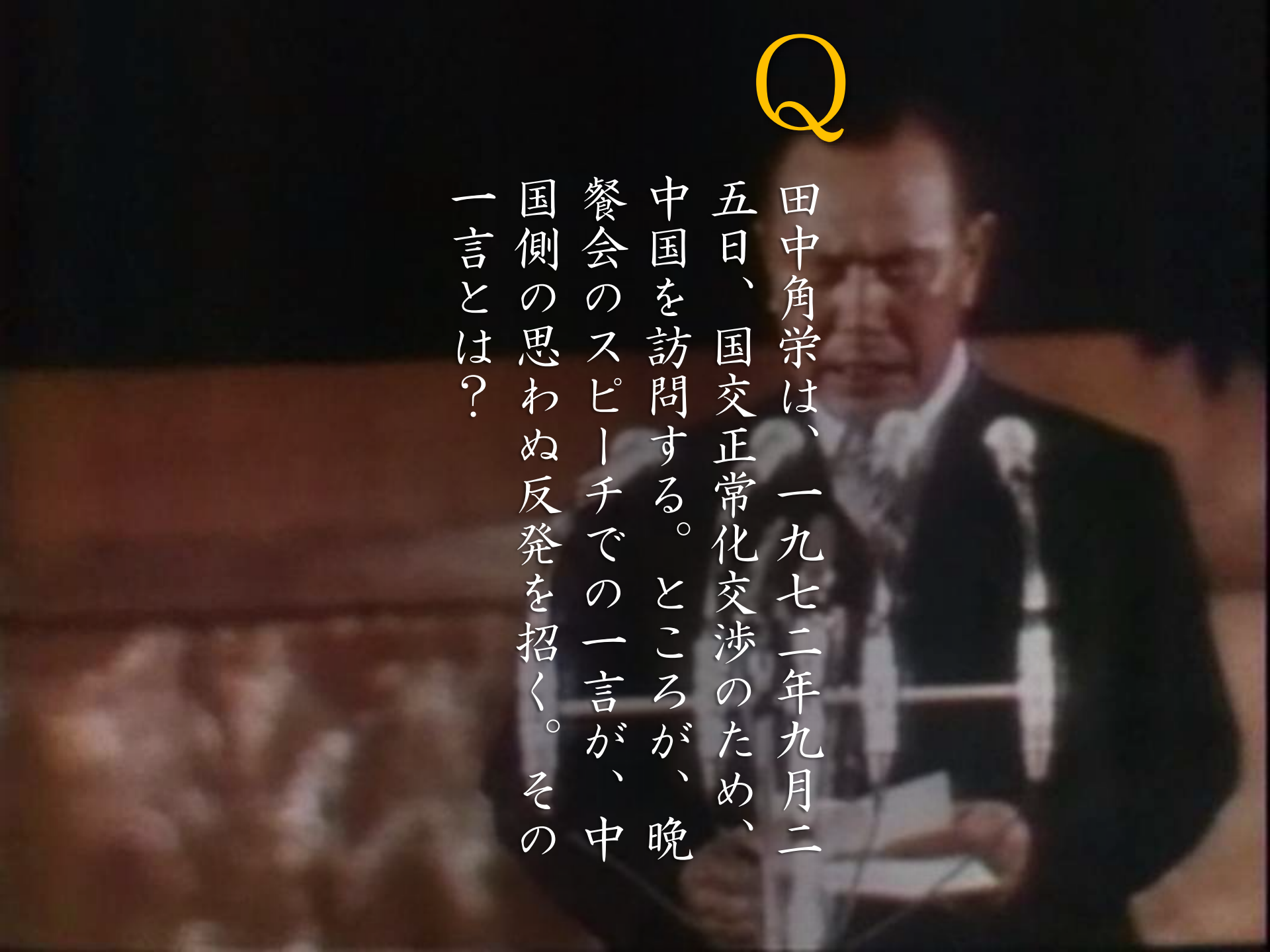


「（私も）満ソ国境へ一兵隊として
行って勤務したことがあります。
：：日中国交正常化の第一番目に、
たいへん御迷惑をかけました、心か
らおわびをしますという気持ち、や
はりこれが大前提になければならな
いという気持ちは、いまも将来も変
わらないと思います」

衆議院予算委員会での質問に答えて

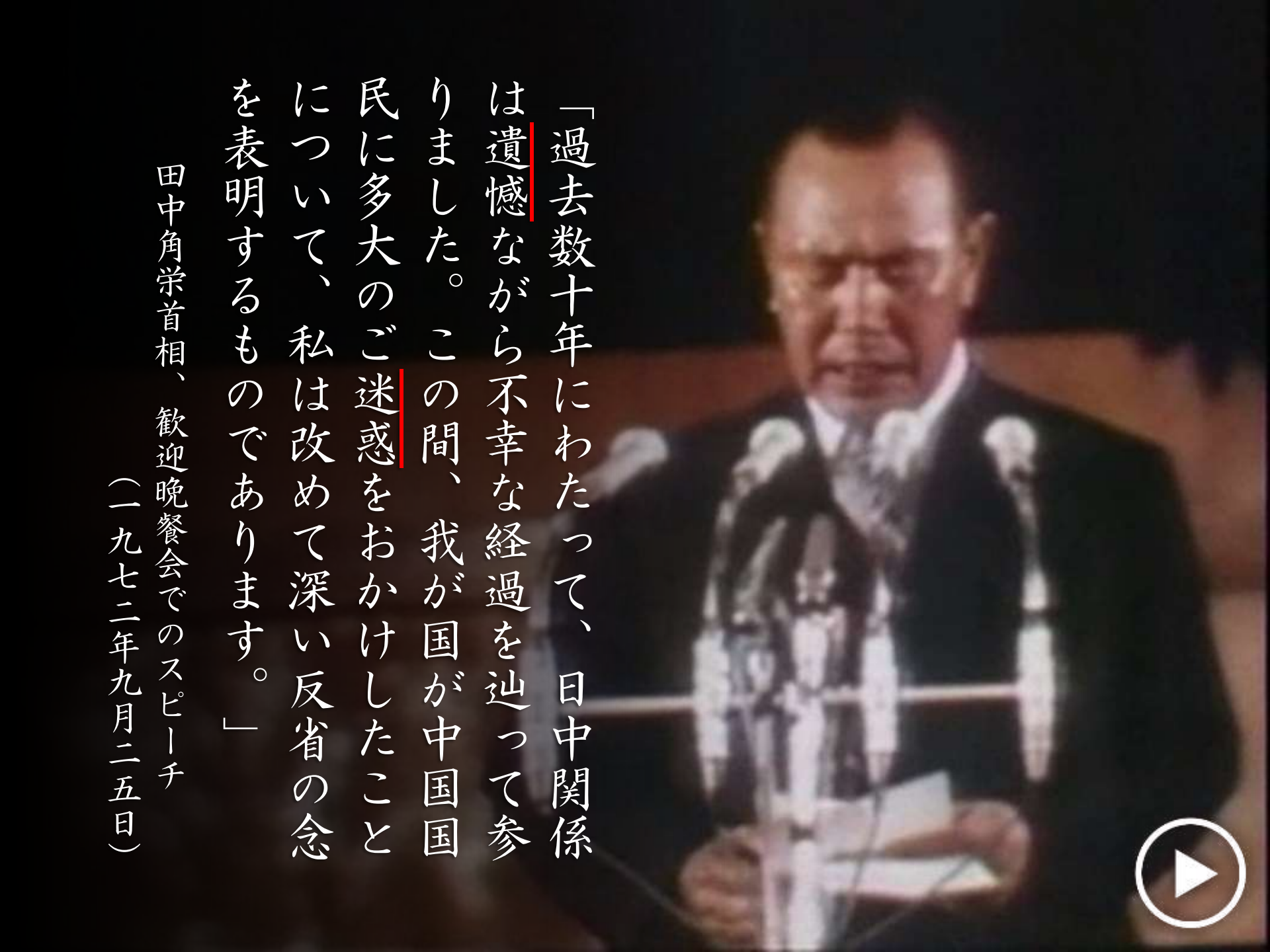
『第六八回国会衆議院予算委員会第四分科会

議事録第四号』（一九七二年三月二三日）



Q

田中角栄は、一九七二年九月二
五日、国交正常化交渉のため、
中国を訪問する。ところが、晩
餐会のスピーチでの一言が、中
国側の思わぬ反発を招く。その
一言とは？



「過去数十年にわたって、日中関係は遺憾ながら不幸な経過を辿って参りました。この間、我が国が中国国民に多大のご迷惑をおかけしたことについて、私は改めて深い反省の念を表明するものであります。」

田中角栄首相、歓迎晩餐会でのスピーチ

(一九七二年九月二五日)





NHK「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)

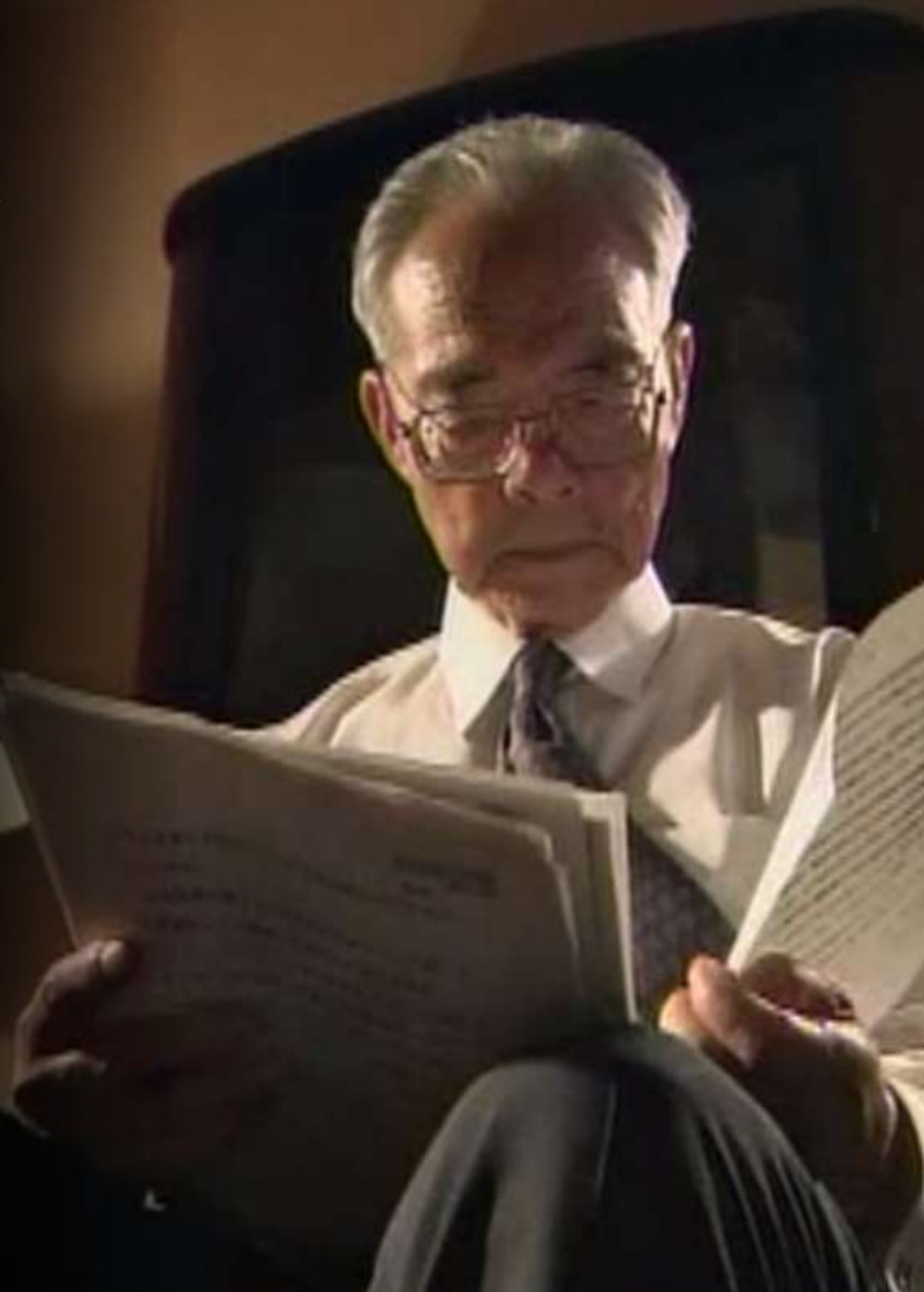
Q

なぜ田中首相の「迷惑」という
言葉は、中国側の反発を招いた
のか？





NHK「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)



不適切な訳が引き起こしたトラブル

日本語原文

「中国国民に多大のご迷惑をおかけ
した」



中国語訳文

「给中国人民添了很多麻烦」

田中角荣首相、歓迎晩餐会でのスピーチ

（一九七二年九月二五日）

不適切な訳が引き起こしたトラブル
「忠実に（通訳）するのが我々の役
目で、むしろ日本語にない謝り方を
することのほうが大変な誤訳：：け
れど常識的に考えて、これがこのま
ま正常化の最終的な文書に行き着く
表現になるとは思いませんよね」

田中首相のスピーチを通訳した小原育夫氏の言葉

服部龍二『日中国交正常化』

（中公新書二〇一一年一四三頁）



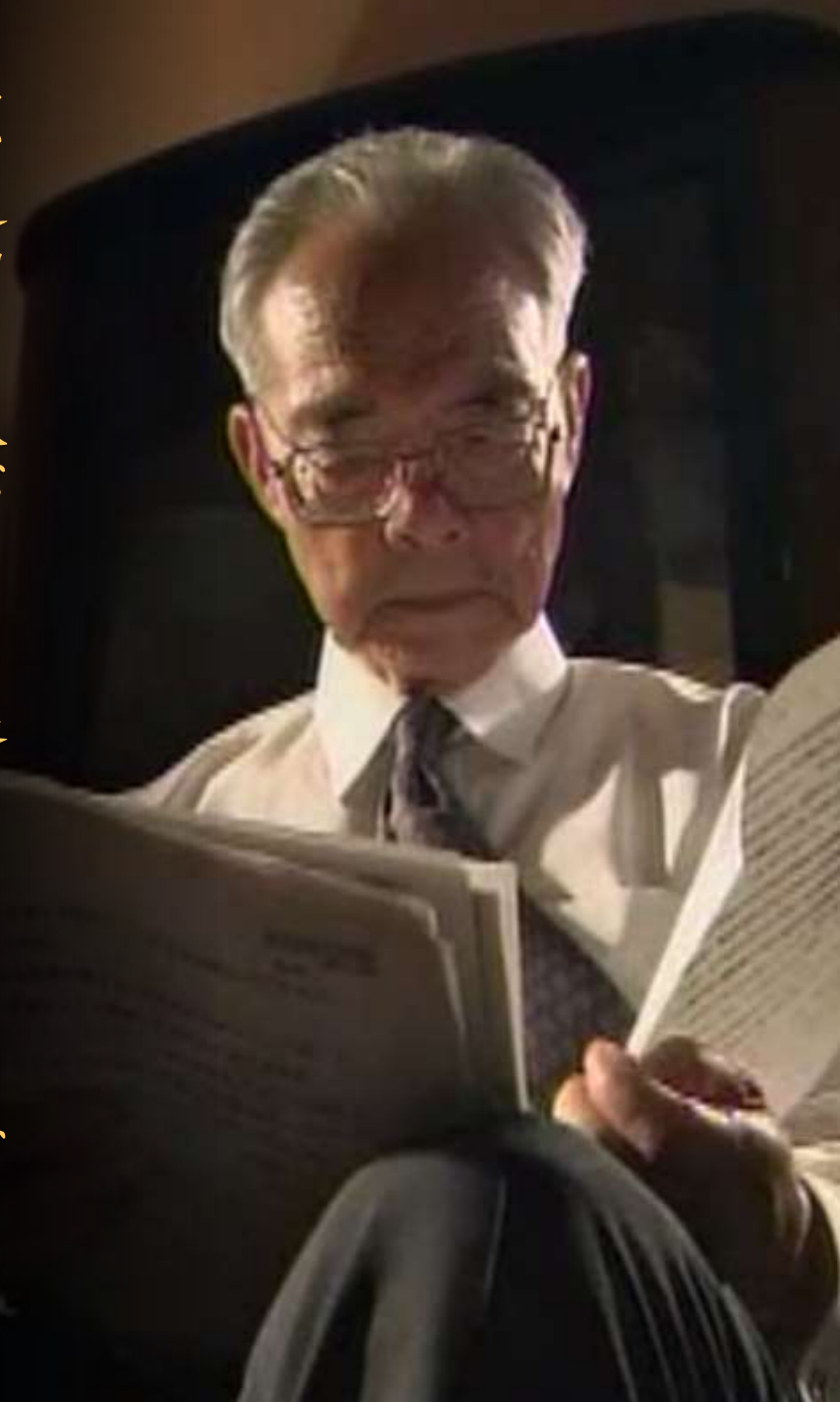
不適切な訳が引き起こしたトラブル

「日本語の『迷惑』を用いることについて橋本が精魂を傾けた事情は理解できることだ。だがここで問われているのは、日本語の原文そのものではなく、それをどのように訳したかなのだ……

矢吹晋『日中の風穴未来に向かう日中関係』

(勉誠出版二〇〇四年五四頁)



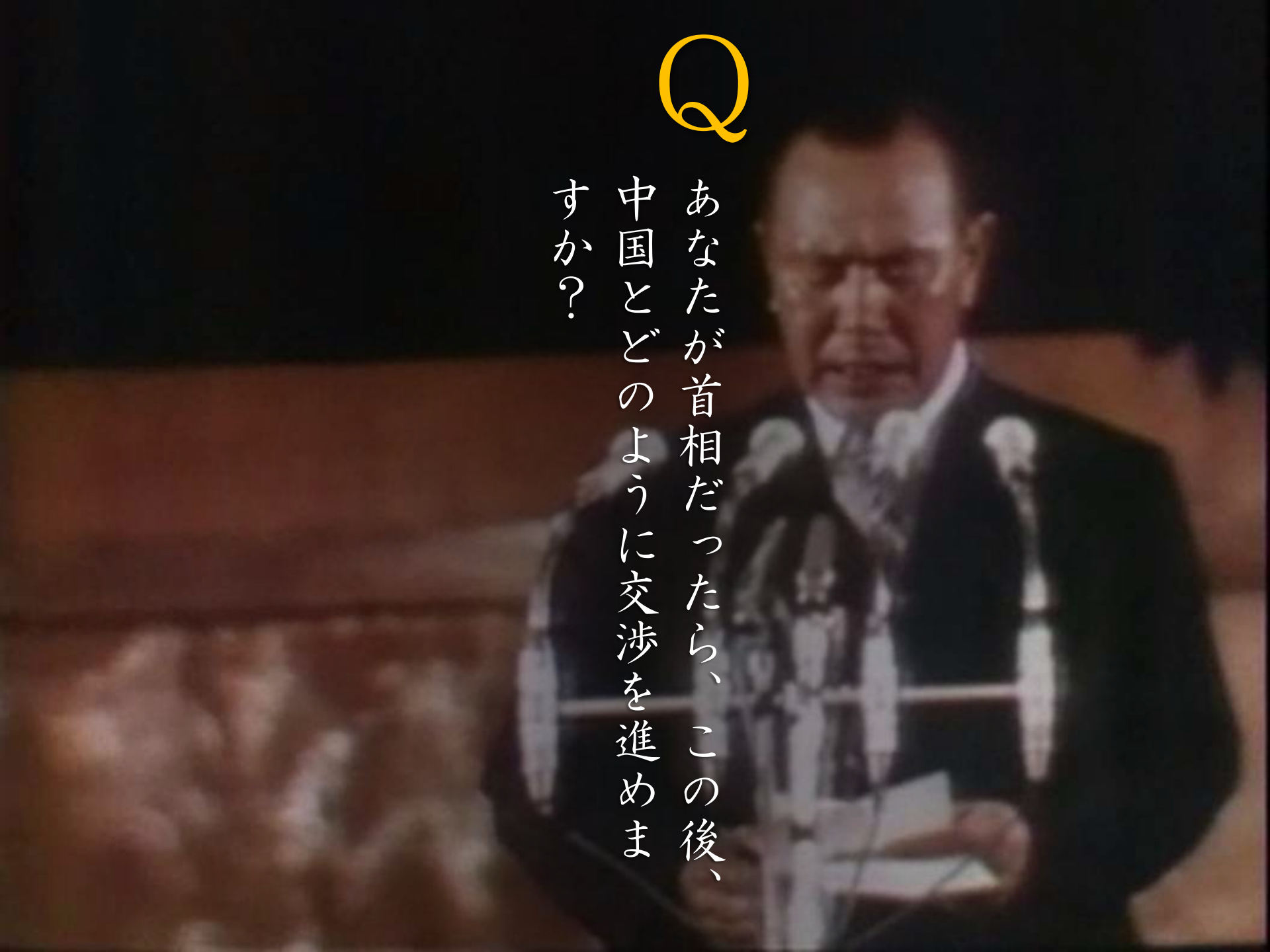


不適切な訳が引き起こしたトラブル

……橋本がもし日本語原文の推敲に
費やしたエネルギーの一割でも、中
国語訳文の推敲に費やしていたなら
ば、歴史的誤解は避け得たのだ。こ
の意味では中国語を解しない中国課
長の限界というほかない」

矢吹晋『日中の風穴未来に向かう日中関係』

（勉強出版二〇〇四年五四頁）



Q

あなたが首相だったら、この後、
中国とどのように交渉を進めま
すか？

不適切な訳が引き起こしたトラブル

「ご迷惑をかけたという言葉は、そんな軽々しい内容のものではない。ご迷惑をかけたという日本語の意味は、あなたが解釈しているような、ごめんなさいという程度のものではない。わたしは、わたしの誠心誠意を込めて、申し訳ないという心情をそのまま表現した……」

田中角栄「日中の課題は『信義』と両国民の『自由な往来』だ―いま初めて明かす日中国交回復の秘話」(宝石第一二巻き第一一号、一九八四年)



不適切な訳が引き起こしたトラブル

…すると、周総理はウーンと低くうなっていたが、それ以上の要求は一切しなかった。『わかりました。言葉尻をとってあげつらうのはやめにします。言葉尻ではなくもつと重要な問題があるのだから。』と話を切り替えてきた。」

田中角栄「日中の課題は『信義』と両国民の『自由な往来』だ―いま初めて明かす日中国交回復の秘話」（宝石第一二巻き第一一号、一九八四年）



NHK 「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)より





NHK「日中は歴史にどう向き合えばいいのか」(2006年)

「二分論」による国交正常化

日中国交正常化を実現するため、
中国政府はこの「二分論」によって、
戦争被害を受けた国民の説得に当
たった。

前述の姜根福さんも、一九七一年、
本多勝一記者の取材に答えてこう述
べている。

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二六二頁）



姜根福さん(2003年12月12日撮影)

「二分論」による国交正常化

「中国で犯した日本の罪悪は、軍国主義の罪悪であって、日本人民の罪ではありません。私たちがこうして過去の体験をあなたにお話したのは、日本人民に対する中国人民の友誼のあらわれでもあるのです」

本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年
文庫版、一九八一年、二六二頁）



姜根福さん(2003年12月12日撮影)

参考文献

- ・ ジョー・オダネル、ジェニファー・オルドリッチ『トランクの中の日本く米従軍カメラマンの非公式記録』（小学館一九九五年）
- ・ 本多勝一『中国の旅』（朝日新聞社、一九七二年、文庫版一九八一年）
- ・ 時事通信政治部編『ドキュメント 日中復交』（時事通信社一九七二年）
- ・ NHK取材班『周恩來の決断』（日本放送出版協会一九九三年）
- ・ 『日中国交正常化・日中平和友好条約締結交渉』（岩波書店二〇〇三年）
- ・ 服部龍二『日中国交正常化―田中角栄、大平正芳、官僚たちの挑戦』（中公新書二〇一一年）